



ご挨拶

街はイルミネーションが輝きはじめ、今年も残すところわずかとなりました。
和モダン水引協会は創立から7年が経ち、皆様のご尽力を賜りながら少しずつ組織として成長しています。
2025年を振り返ってみるとたくさんの新しいことが増えた1年でした。

水引講座について

水引大使が増えたことで開催地域や教室が増えました。より多くの方に水引と出会うチャンスが広がっていることは嬉しいことです。講座のお問い合わせも増え、珍しいところではお寺の関係者の方々へ水引講座をさせていただきました。また、予約サイト「Otonami」を通じて新講座も始まり、新しい生徒さんに水引の世界をお伝えできたことも喜ばしいことです。一方で繰り返し見ることのできる動画レッスンの製作については2026年の目標として必ず実現したいと思います。



販売・出展について

たくさん魅力的な水引商品やアート作品を作っても販売する機会が少ないのはもったいないと思っておりましたが、今年は新たに丸善日本橋店、伊勢丹浦和店、そごう大宮店、東急たまプラーザ店など数多くのPOP-UP出展ができました。すでに2026年度についても再出展のオファーをいただいております。水引大使が作る商品の魅力が増しているのだと思います。また海外ではドバイで開催のJapan Culture Conへの出展を叶えることもできました。去年開店した浅草の実店舗は多くの外国人の方に立ち寄っていただくお店に成長し、外国人への英語での接客や外国人の好みを知る機会となり、とてもよい勉強になっています。さらには、公募展や美術展への出展を果たした水引大使が増え、水引がアート作品になることを作品を通じて発表され、多くの方からの称賛をいただきました。

さて、午年の来年はどんな1年になるのでしょうか。

レッスンごとに生徒さんが送ってくださる写真や習ったものをアレンジしてこんなものを作りましたという写真などを見ると、水引を楽しんでいただけているなあ嬉しくなります。

2026年も水引のある生活を一緒に楽しみましょう。





第5回・会員作品展を開催（11月1日～3日）



2025年会員作品展が、世田谷区成城にあるアートギャラリーチェリー成城で開催されました。

今年も協会会員の初級から上級、水引大使（講師）までたくさんの方にご参加いただきました。作品展のテーマ

は「慶び」お祝い事をみなで喜び合う幸せが込められたこのテーマらしく、見ていて自然と笑顔になるような慶びあふれる作品が並びました。



最終日の夕方には授賞式を行いました。

毎年搬入時に水引大使の投票でさまざまな賞が決まります。レベルの高い作品ばかりで僅差で賞が決まることも少なくありません。時間をかけて作り上げた作品だからこそ受賞は本当に嬉しいものですね。今年の大賞作品は来年の作品展のご案内はがきになります。



年に1度の作品展は、積み重ねてきた技術や創造性を作品展という場で披露し合うことでお互いを刺激し合う貴重な場となります。水引という同じ素材を使っている、ひとつひとつの作品にその人らしさが滲み出るものだなとも思います。

次はどんな作品を作ろうかと思い悩む時間も楽しみながら素敵な作品を作ってもらいたいです。次回もどんな作品に会えるのか楽しみですね。



全提出作品写真をウェブ上に掲載しています。
みなさんの力作をぜひご覧ください！



参加された作品の中から様々な賞が贈られました。

今年度の受賞作品をご紹介します。(水引大使の作品は対象外)



大賞

青山 宮野さん
『おせち料理』

海老、黒豆、紅白なます、かまぼこ、伊達巻、田作りなどおせち料理の定番が丁寧に美しく表現されていました。おせち料理を囲んだ家族の笑顔や慶びが浮かんでくるようなとても素敵な作品でした。



銀賞

扇 まどかさん
『ハートフル』

「呪術廻戦0」の曲とキャラクターをイメージして作られたそうでとても繊細に作られていました。きらりと光る赤いハートと手をイメージした白い羽がとても印象的な作品でした。



慶び賞

竹内 恵子さん
『春のまきば』

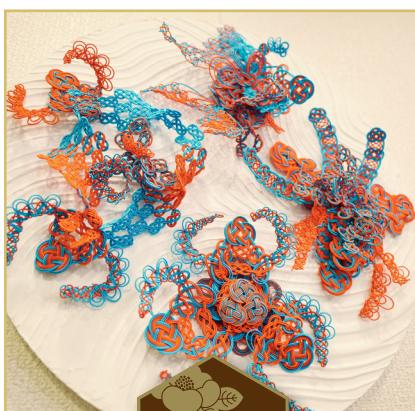
春の喜びと生を受けた仔馬の喜び、それを見守るみみずくがとても可愛らしい作品でした。夜のまきばを優しい色使いで表現されて春の穏やかな時間を感じました。



和モタン賞

松下 絵里香さん
『おてもとに四季を慶ぶ』

様々な形で折られた箸袋に四季の植物を水引で美しく表現された作品でした。白いペーパーキリングで飾られた台がさらに箸袋を引き立てていました。



デザイン賞

大石 瑠美さん
『脈々』

大阪・関西万博のイメージカラーで世界からたくさんの人々が訪れた慶びを表現されたそうです。今年を象徴するような作品で見ただけでワクワクしてくるような作品でした。



アイデア賞

岩本 由紀子さん
『吉兆を呼ぶ、慶国の麒麟』

今にも額の中から飛び出てきそうな躍動的な麒麟を見事に表現されていました。青とゴールドの色合いが鮮やかで揺れる麒麟の鬃が風を感じるような作品でした。





あの人にインタビュー

水引大使 市田陽子さん × 協会代表 重田恭子

この度、水引大使市田陽子さんが AJC クリエイターズコンテスト 2025 アートジュエリー部門 銀賞 一般財団法人生涯学習開発財団賞を受賞されました。

おめでとうございます!!

水引を始めたキッカケは?水引大使になってどんな活動をしているの?

水引大使の市田さんにお話を伺いました。

重田：水引との出会いは?

市田：10 年くらい会っていなかった重田さんから「水引の展示会」の案内が届きました。久しぶりなので会いたいなと思って出かけることにしました。

ところで「水引って?」思い浮かぶものはご祝儀袋くらいでした。そういえば母の実家が水引の産地だと聞いたことがあるなあなんて思いながら会場に向かいました。

重田：水引の展示会に行ってどんなことを感じましたか?

市田：行ってみると想像していた祝儀袋は会場にはなく、えっこれが水引なの?という水引で作られた作品が額に入れて飾られていたり、アクセサリーになっていたり、想像していたものとは違っていました。

重田：その後、すぐに水引をはじめようと思ったのですか?

市田：「水引のレッスンをやってるよ」ともらったチラシを眺めながらしばらく考えました。2〜3か月くらいかな。でもちょうど何かはじめたいと思っていたのでは始めることにしたんです。日本の伝統工芸というお堅いイメージで気軽に始められないのではと思いましたが、そんな心配は不要でした。毎回新しい結び方を親切にそして丁寧に教えてもらい、作れるものがどんどん広がっていき、水引でモノを創り出す楽しさを覚え没頭していきました。いっしょに習う仲間との交流も楽しくて水引のレッスンに行くのが楽しみになっていきました。

重田：最初から水引大使を目指していたのですか?

市田：最初は趣味で綺麗な水引作品を作れたらと思って始めた習い事の一つでした。しかし、この和モダン水引協会には、習字教室のように初級から上級までの水引試験があります。水引にすっかりハマってしまった私は、もっと上を目指したいと思い、思い切って級の試験を受けることにしました。

さらには水引大使という資格まで取ることができました。水引大使というのは、水引講師として教えるだけではなく、大使仲間と一緒に展示販売会を開催したり、水引を国内外に広める活動を共にしていく仲間です。

水引講師になってからは、定期的に教室を開催し生徒にも恵まれて、今では私の生徒さんは 30 ~ 40 名くらいになりました。

重田：素晴らしいですね。講師活動以外の活動についても教えてください。

市田：水引アート作品の制作にも力を入れています。先日公募展に出品した作品で銀賞を受賞できたことはとても嬉しく思っています。

重田：これからもご活躍を期待しています。他の水引大使メンバーと一緒に水引を広める活動をがんばっていきましょうね。ありがとうございました。



市田さんは独自ブランドの商品制作や販売も精力的に行っており、今では趣味から始めた水引が収入になるお仕事となっております。

これからもどんどん羽ばたいていていただきたいと思います。応援しています。



新たに合格された大使

この度新たに水引大使として5名の方が合格されました。
今後のご活躍を期待しております。

◆東祐見子 さん（埼玉）

◆玉井理恵 さん（東京）

◆矢野優子 さん（東京）

◆縣 明美 さん（埼玉）

◆鬼倉和世 さん（東京）

次回の資格試験は2月開催です。

2月21日(土)対面

2月22日(日)オンライン

改めて1月に詳細及び、申し込み受付を
ご案内いたします。

20

25

年

協

会

主な活動報告

1月 JTB 主催婚活イベントでの
ワークショップ

西武渋谷店出展

3月 水引資格試験
インタースクールでの
ワークショップ

4月 予約サイト Otonami で
水引講座スタート

6月 障害者施設ふれあいの家での
ワークショップ

7月 曹洞宗の皆様と水引のお話と
ワークショップ

8月 丸善日本橋店出展

伊勢丹浦和店出展

巫女縁日に出店

9月 水引資格試験

11月 第5回会員作品展

12月 そごう大宮店出展

ドバイ「Japan Culture Con」出展

東急たまプラーザ店出展

葛西図書館での水引とお包みの講座

編集後記（作品展原稿担当：青野）

今年もたくさんの方にお越しいただぎとても賑やかな作品展となりました。
ひとつひとつの作品をじっくり見ながら語り合い、みんなが笑顔になるようなひとときでした。
作品展も5回目となり運営スタッフ（水引大使）も増えて、みんなで作り上げる作品展は
仲間の絆を深めてくれたような気がします。来年も協会として新しい挑戦やイベント
などを予定しており今からワクワクしています。
水引で広がるご縁や経験に感謝しつつ来年も思いっきり楽しみたいと思います。

